



平成21年11月12日

各位

会社名 日本水産株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 垣添直也
 コード番号 1332
 問合せ先 執行役員総務部長 佐藤高輝
 (TEL. 03-3244-7181)

業績予想の差異および修正に関するお知らせ

平成21年8月4日に公表した業績予想と比較して、本日公表の決算において下記のとおり差異および修正が生じたのでお知らせいたします。

(注) 個別の業績につきましては、平成21年5月15日に公表済の数値です。

記

1. 平成22年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(連結)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	250,000	6,000	5,000	2,000	7円24銭
実績値(B)	241,226	3,805	3,040	1,031	3円73銭
差額(B-A)	△8,774	△2,195	△1,960	△969	—
差額率(%)	△3.5%	△36.6%	△39.2%	△48.5%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	259,043	2,503	1,115	△2,069	△7円49銭

(個別)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	160,000	2,000	2,500	2,000	7円23銭
実績値(B)	154,014	1,174	1,307	1,121	4円6銭
差額(B-A)	△5,986	△826	△1,193	△879	—
差額率(%)	△3.7%	△41.3%	△47.7%	△44.0%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	164,003	1,490	2,570	1,868	6円76銭

2. 平成22年3月期通期業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（連結）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	510,000	12,000	10,000	5,000	18円10銭
今回修正予想（B）	480,000	8,500	7,000	2,000	7円24銭
増減額（B－A）	△30,000	△3,500	△3,000	△3,000	—
増減率（%）	△5.9%	△29.2%	△30.0%	△60.0%	—
（ご参考） 前期実績（平成21年3月期）	505,250	3,156	△1,222	△16,239	△58円74銭

（個別）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	325,000	4,000	5,000	3,000	10円85銭
今回修正予想（B）	310,000	2,500	2,800	2,000	7円23銭
増減額（B－A）	△15,000	△1,500	△2,200	△1,000	—
増減率（%）	△4.6%	△37.5%	△44.0%	△33.3%	—
（ご参考） 前期実績（平成21年3月期）	324,284	△1,175	764	△3,038	△10円99銭

3. 差異および修正の理由

【当第2四半期累計期間】

個別業績につきましては、水産事業においてすりみ、かに、鮭鱒など主要魚種の消費低迷による販売数量の減少および販売価格の下落に加えて、評価損が発生しましたので、平成22年3月期第2四半期累計期間の業績予想を下回りました。

連結業績につきましては、個別業績が前回予想を下回ったことに加え、北米の水産事業においてすりみなどの生産数量の減少および販売価格の下落があり、また、南米の漁撈会社において漁獲量の減少および販売価格の下落があり、平成22年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を下回りました。

【通期見通し】

個別業績につきましては、通期においても、水産事業において主要魚種の消費低迷による販売数量の減少および販売価格の下落が予想されますので、業績予想を修正しております。

連結業績につきましては、通期においても、個別業績の影響に加え、北米の水産事業においてすりみなどの生産数量の減少および販売価格の下落や南米の漁撈会社において漁獲量減少などが予想されますので、業績予想を修正しております。

なお、期末配当予想の1株当たり5円（年間配当予想10円）に変更はありません。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上